

大川化粧合板工業協同組合

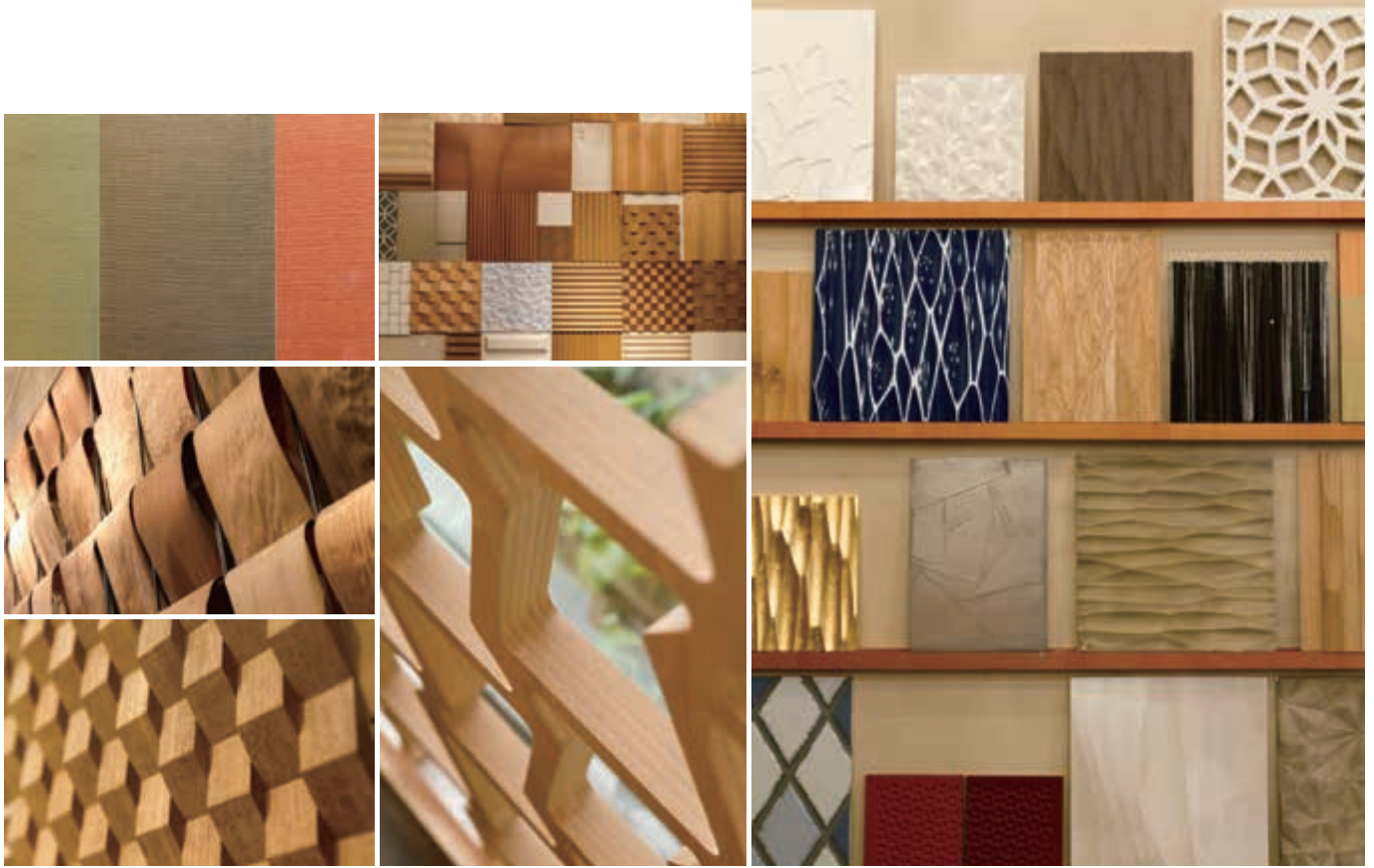
■大川化粧合板工業協同組合事業の紹介



不燃機械／わが国では東京オリンピックを控え、建設工事が多くなっております。その建設物については耐火基準が厳しくなっており、内装材についても不燃材を要求されるようになります。こうしたことを背景に、この装置では主に単板や杉板・ヒノキ材の不燃化の実験やサンプル作成等のために稼働させています。今後、同装置による研究開発を進め、日本の木造建築をより良いものにしていきます。

■大川化粧合板工業協同組合 会員名簿 (青字で表示されている会社をクリックすると紹介ページに移ります) (五十音順)

会社名	代表者名	郵便番号	所在地	TEL(大川 0944)	FAX(大川 0944)
石井商店	石井 登志朗	831-0034	大川市一木48-10	88-2369	88-3442
(有)イマヤマ	今山 博臣	831-0004	大川市榎津103-2	86-3037	86-3083
(有)内田ツキ板	内田 裕史	831-0005	大川市向島1593-3	87-1911	88-0654
(株)大川単板産業	森松 信彦	831-0028	大川市郷原632-1	88-0065	88-0076
(株)OKファイバー	鐘ヶ江 徹一	831-0016	大川市酒見135-2	86-5148	87-4148
(株)オサジマ	箴島 敏浩	831-0007	大川市道海島40	87-3243	87-3046
(株)河島商会	河島 詩郎	831-0032	大川市北古賀227-1	86-5732	86-5732
(有)関西ツキ板商会	緒方 芳広	831-0003	大川市諸富194	87-1855	87-0205
(株)酒見展業	酒見 毅	831-0004	大川市榎津86-1	87-3057	87-3051
山栄産業(株)	島崎 朝雄	831-0003	大川市諸富37	87-7771	87-7773
(有)三輝ツキ板工業	田中 明	831-0016	大川市酒見1161-2	88-3566	88-3556
(有)志岐工芸	志岐 太輔	830-0213	久留米市城島町江上1315-1	0942-62-3854	0942-62-2069
島崎興産	島崎 朝雄	831-0008	大川市鐘ヶ江590-5	88-0394	88-0391
(株)大新	渡辺 茂信	831-0006	大川市中古賀1048	87-2788	88-2813
東京ツキ板(株)	石橋 努	831-0005	大川市向島1648-4	87-2208	87-2210
東洋突板工芸(株)	大関 一宏	831-0005	大川市向島960-1	87-1567	87-1227
(有)トマト	池末 和海	831-0005	大川市向島1766	86-5488	86-5926
(有)中村突板	中村 孝博	831-0008	大川市鐘ヶ江677	87-7060	87-8360
(有)中村満木工	中村 満	831-0016	大川市酒見594-2	86-4858	86-5018
中本商会	中本 茂	831-0026	大川市三丸1228-3	87-1167	87-5787
(有)伏見商会	伏見 誠	831-0005	大川市向島2213-2	87-3654	87-3974
堀田ツキ板	堀田 源衛	831-0031	大川市上巻94-1	87-6424	88-2633
松本ツキ板工業(株)	坊上 義信	840-2102	佐賀市諸富町為重400-5	0952-47-3410	0952-47-3473
馬淵ツキ板工業所	馬淵 訓行	831-0028	大川市郷原337-2	86-5510	87-2813
(株)柳川ツキ板工芸	中村 芳徳	832-0046	柳川市奥州町21-7	73-1896	73-1922



全国ルートを駆使して グループ会社に天然ツキ板を提供。—————石井商店



石井商店

所在地/〒831-0034

福岡県大川市一木48-10

代表者/石井 登志朗

TEL0944-88-2369

FAX0944-88-3442

[E-mail]info@elegantwood.net

創業/昭和44年

従業員/1名

営業時間/8:00~17:00

定休日/日曜祭日、第2土曜日



世界各国のさまざまな樹種のツキ板を取扱う石井商店。創業当初は大川市内の家具製造所や木材加工所を中心に商品を納めていましたが、平成6年にグループ会社(株)エレガントウッドコーポレーションを設立。現在は同社のツキ板仕入れ窓口としての業務をメインに担当しています。

エレガントウッドは、全国の商業施設や公共施設、さまざまな業種の店舗などの内装用デザインパネルの製造販売を手がけ、これまでに福岡県内の国際会議場やホテルをは



じめ、池袋メトロポリタンプラザ、関西空港ラウンジなどに壁面材を納めています。

同社ではオリジナル製品やツキ板を使った製品を積極的に開発。天然木ツキ板を職人の専門技術で一つひとつ真空練付けする天然ツキ板練付け仕上げは、木の暖かみが漂う高級感のある内装パネル材として高い評価を得ています。



TOP VOICE

石井商店では、通常では入手困難な樹種のツキ板を、これまでに築いたルートを駆使し調達するなど、設計事務所やデザイナーの方からのさまざまな要望にお応えしています。



自社開発の『ヒタバン』で、 住空間にイノベーションを起こす。

有限会社 イマヤマ



有限会社 イマヤマ

所在地/〒831-0004

福岡県大川市榎津103-2

代表者/今山 博臣

TEL0944-86-3037

FAX0944-86-3083

[URL]http://www.imayama.com/

[E-mail]q.a1ima@imayama.com

設立/昭和39年10月1日

資本金/500万円

従業員/4名

営業時間/8:00~17:00

定休日/日祝日、隔週土曜日



化粧合板の会社として1964(昭和39)年に創業したイマヤマ。インドネシア、ニュージーランドなどから合板やMDFを輸入し、さまざまな化粧合板に仕上げます。

2代目の今山社長は化粧合板の未来を変える新たな化粧合板を生み出しました。それが『ヒタバン』。「磁石の付く化粧板があれば便利だな」との発想から試行錯誤を繰り返して『ヒタバン』(特許申請中)が出来たのです。磁石が付くことに加え、これまでと変わらない加工のしやすさ、不燃材の要素を持ち合わせているのも特徴。

見た目はごく普通の化粧合板ですが、賃貸マンションやアパートの内装に『PITABAN』

を使えば、壁に穴を空けることなくポスターや写真などを貼れます。磁石の強度によっては、テレビやスピーカーなども簡単に設置することができ、その可能性は使う人に合わせて広がります。「これまでの住空間を劇的に変えたい」という今山社長。これからもイマヤマから新たな製品が生まれることでしょう。



TOP VOICE

耐久性アップなど『ヒタバン』をより進化させるのが当面の目標です。また、木目や艶などの意匠も上げていきたいと思っています。今は家具資材が中心ですが、『ヒタバン』のような競争力のあつて他製品と明確な差別化のできるモノを開発していきたいと考えています。





TOP VOICE

多品種、小ロットで対応し、小回りのきくところも
同社の利点です。

ツキ板やシートの貼り加工から
塗装まで一貫作業。色を配合して
希望通りの合板に仕上げます。——— 有限会社 内田ツキ板



有限会社 内田ツキ板

所在地 / 〒831-0005

福岡県大川市大字向島1593-3

代表者 / 内田 裕史

TEL0944-87-1911

FAX0944-88-0654

[URL] <http://uchida-tukiita.com/>

[E-mail] info@uchida-tukiita.com

創業 / 昭和46(1971)年

従業員 / 20名

営業時間 / 8:00 ~ 17:00

定休日 / 日曜・祝日、第2・4土曜(不定)



同社は、材にツキ板やプリントシートを貼って化粧合板をつくり、家具メーカーや木工所に納めています。2つの工場で貼り加工からポリ化粧、塗装まで一貫して行っているのが特徴です。

取引先のオーダー通りにつくるのが身上。とはいえ、家具の色は、材や取引先の商品特性によって異なります。そこで自社で塗料を配合して色をつくり、試し塗りをし望み通りの商品を納期に間に合うように仕上げる努力をしています。

材にツキ板を貼るのはすべて手作業。従業員2人が紙のように薄いツキ板を持ち、ツキ板の木目を見ながら呼吸を合わせて材に貼り付け、プレスで厚着していきます。ベルトコンベアから現れた商品はシワ一つなく、また継ぎ目もわからない一枚板そのもの。テレビボードの天板など家具用、建材用の化粧板に使用されています。従業員は皆、誇りを持って作業しています。機械化が進んで

いますが、ツキ板を貼る作業、色をつくる作業は人間の感覚のほうが上回っているといえるでしょう。

近年、ガラスにツキ板を貼った商品をつくり、テレビボードに使用されました。ツキ板は赤外線を通すため、テレビボードのガラス扉を閉めたまま、ビデオ等のリモコンを操作することができます。社長の内田裕史さんは「今まではお客様の要望に応えるので精一杯でしたが、これからは商品開発も考えたい」と話します。ツキ板でどんなことができるのか? ツキ板は、まだまだ能力を秘めているのかもしれない。





突板加工とNC加工で、多彩な部材を。

大川では数少ない真空貼りの技術も。——株式会社 大川単板産業



株式会社 大川単板産業

所在地/〒831-0028

福岡県大川市郷原632-1

代表者/森松 信彦

TEL0944-88-0065

FAX0944-88-0076

創業/1977年

設立/2007年

資本金/700万円

従業員/4名

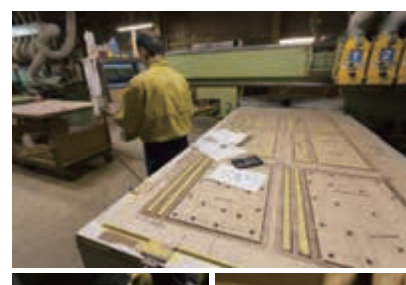
営業時間/8:00~17:00

定休日/日、祝、第2土曜日

突板を中心した家具の資材や建築材の販売を行っています。扱っている突板の種類は30～40種類。その突板を合板やMDFに貼る確かな技術や、精密なNC加工で、部材を多彩にアレンジできるのが大川単板産業の特長です。

大川には30社を超える突板の組合がありますが、真空貼りの技術を持っているところはそう多くはありません。和紙に貼った突板を合板やMDFに貼る真空貼りは、平面にしか貼れない通常の突板と違って、丸みや窪みのある部分にもきれいに貼ることができるので、用途が無限に広がります。

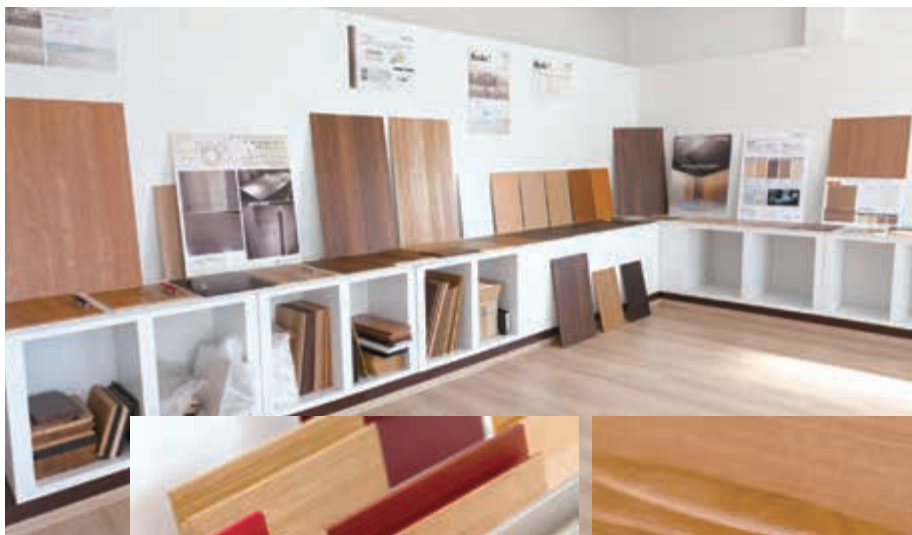
注文が多いのは、家具だと扉の前の部分、建築材ではドアや腰パネルなど。「NC加工



TOP VOICE

突板の貼り加工なら、当社にお任せください。全て自社で加工していますので、スピーディーな納期にも応じられます。現在の販売先は大川市内がほとんどですが、今後は少しずつ市外にも広げていきたいと思っていますので、よろしく願います。

機も自社で所有しているので、材料を仕入れたら一から十まで自社で加工できるのが当社の強みです」と、森松社長は話します。現在、業界内のグループで開発中なのが、不燃ボードの表面にNC加工で凹凸を付け、その上に突板を貼った建材。紙のシートを貼った不燃ボードは製品化されていますが、純木の突板を貼った不燃ボードは未開発とあって、一日も早い商品化が期待されています。



梱包材から建材シートまで扱い、粘着テープ1個でも「今日来る」が信条です。————— 株式会社 OKファイバー



株式会社 OKファイバー

所在地/〒831-0016

福岡県大川市大字酒見135-2

代表者/鐘ヶ江 徹一

TEL0944-86-5148

FAX0944-87-4148

[E-mail]ok-fiber@eco.ocn.ne.jp

創業/昭和33年(1958年)

設立/昭和43年(1968年)

営業時間/ 8:30 ~ 17:30

定休日/隔週土曜、日曜

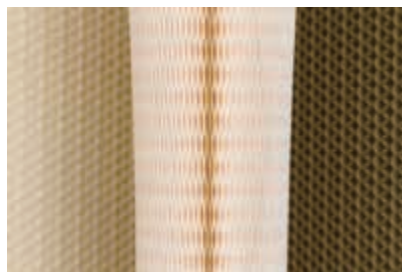
元は会社名をOK紙店といい、家具を梱包する段ボールや紐などの紙資材を扱っていました。印刷技術の進歩によって紙製品は梱包材にとどまらず、MDFボードに貼るシートへと進化。それらはツキ板に代わって壁材やドア、家具などの建材として使われるようになりました。

同社は印刷メーカーとともにオリジナルシートを開発。柄は木目調から大理石やアルミ調のものまであり、色も幅広く揃っています。既製品も含めれば、扱う商品は数千種類に上るといいます。最近では木の節があったり、凹凸がついたりして触感も進化。見た



目は木材と変わらず、またデザインも多様化して建材としての機能は高まりつつあります。

もちろん梱包材も今までと同じく販売しており、配達車が市内をくまなく回っているため、粘着テープ1個でも配達しています。それが同社の強み。さらに「明日来る」どころか「今日来る」ですよ。地元根付いた同社らしく、フットワークの軽さが持ち味です。



TOP VOICE

取引先はシートだけ仕入れて自社で加工する建材店や、シートを貼ったMDFボードを仕入れる家具メーカーなどさまざまですが、ほとんどが大川地区の企業です。



高い技術と安全性で、暮らしを支える化粧合板を製造・販売。— 株式会社 オサジマ



株式会社 オサジマ

所在地/〒831-0007

福岡県大川市大字道海島平野40

代表者/ 箴島 敏浩

TEL0944-87-3243

FAX0944-87-3046

[URL] <http://kk-osajima.com/>

[E-mail] info@kk-osajima.com

設立/昭和35年

資本金/ 1,800万円

従業員/ 15名

営業時間/ 8:00 ~ 17:00

定休日/ 日曜日、当社指定日



株式会社オサジマは建具枠、巾木、廻り縁といった造作材や家具や建具等に用いられる化粧合板を製造しています。化粧合板とは基材の合板(ベニヤ・MDF・パーティクルボード等)の表面にフィルムや化粧紙などを貼り付け、表面処理を施した合板のことを言います。しかし、そのクオリティはまるで無垢材の



ようです。またラッピング技術でも高い評価を受けています。

化粧合板というとホルムアルデヒドによって引き起こされるシックハウス症候群が気になるところですが、安全面についても十分な配慮がなされています。株式会社オサジマの製品の安全性は、国土交通大臣による最高位にあたるF☆☆☆☆(フォースター)の認定を受けています。これは放散レベルの最も低い製品に表示することができる最高ランクの等級で、建築基準法の規制を受けずに使用することができます。

株式会社オサジマは高い技術と安全性で私たちの暮らしを豊かにします。



TOP VOICE

化粧合板やラッピングといったら、以前は家具や住宅のコストを抑えるために使われていました。しかし最近はインテリアとしてのデザイン性を高めるために使われる事が多くなっています。木では表現できない事を実現するために、また安全性や耐久性のために使われる事も少なくありません。合板やラッピングの技術の進化が暮らしを豊かにしているのです。





世界中から集まる天然木を製材。
長年の経験と実績が信用を生み出す。—株式会社 河島商会



株式会社 河島商会

所在地/〒831-0032

福岡県大川市大字北古賀227-1

代表者/河島 詩郎

TEL・FAX 0944-86-5732

創業/昭和60年(1985年)

設立/平成24年(2012年)

資本金/300万円

従業員/1名

営業時間/8:00 ~ 17:00

定休日/土・日曜、祝日



アメリカやヨーロッパから、ホワイトオークやウォールナット、チェリーなどの天然木の丸太を仕入れている河島商会。自社で仕入れと製材を行い、専属の2社で加工を行っています。その内の1社である梶島スライサーでは、河島商会から届いた材木を長さ0.9 ~ 3m、厚さ0.2 ~ 0.5mmにスライス。倉庫に並べた突板は換気扇と扇風機を併用しながら自然乾燥させています。天候や樹種によって乾燥の程度が異なるので気を遣っているそうです。

こうして完成した突板の取引先は、県外の貼り加工店や仕入れ販売店が中心。河島商会では静岡県で年に3回行われる展示会に突板を出品しています。「弊社の強みは長年に

わたって築き上げてきた“信用”。展示会でも昔から付き合いのある会社が訪れてくれるので、数ある出品者の中でも一番お客様が多くいつも完売しています」と代表の河島詩郎さんは誇らしげに話してくれました。また、突板以外に材木店のように、仕入れた丸太ごとの販売も行っています。同じく大川の関家具が手掛ける一枚板ブランド「ATELIER MOKUBA(アトリエ木馬)」で扱われている6 ~ 7割は、河島商会が買い付け製材したものだそうです。河島商会の売上高は年間4 ~ 5億円で、突板だけで2億円の売上高があるとのこと。長年真摯に取り組んできた姿勢が大きな信用を生み、今では営業せずに全国から注文が殺到するほどに成長しています。



TOP VOICE

私たちは世界中から高品質な材木を買い付けています。突板も専属の業者が丁寧に加工を行っているので、製品のクオリティも多くのお客様から評判を得ています。突板や材木のことなら何でもおまかせください。



お客様とのコミュニケーションを大切に
天然木ツキ板の魅力を伝える。—— 有限会社 関西ツキ板商会



有限会社 関西ツキ板商会

所在地/〒831-0003

福岡県大川市諸富194

代表者/緒方 芳廣

TEL0944-87-1855

FAX0944-87-0205

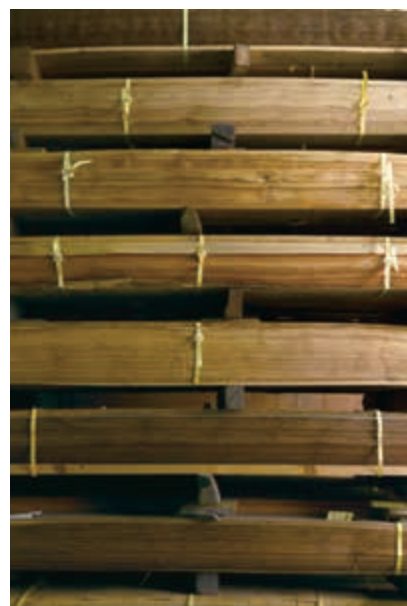
創業/昭和50年



天然木ツキ板を取扱う関西ツキ板商会は、緒方社長と先代が昭和50年に父子で創業しました。当時は自社工場で丸太を製材しツキ加工まで行っていましたが、現在は仕入れ・販売が主体です。

取引先は大川市外、東京や大阪、名古屋などの都市圏です。出荷したツキ板は教育施設やホテル、病院などの内装材として使われます。長いお付き合いの取引業者が多いです。

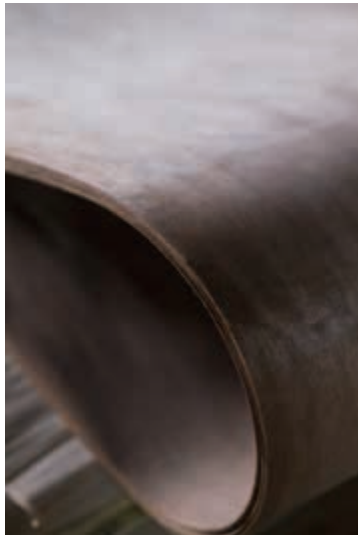
「天然木ツキ板は2つとして同じものはありませんから、ご要望に的確にお応えするた



めお客様とのコミュニケーションを大切にしています」と緒方社長。樹種の数だけツキ板の種類はありますが、最近ではツキ板用材の丸太が減少しているためにお客様の要望どおりに取り揃えるのが年々難しくなっているのだとか。九州内の取引先には、緒方社長自らツキ板を届けています。

TOP VOICE

仕入れ先、納入先ともに私たちにとっては大事なお客様です。ベニア板一枚分のツキ板でも大切にお届けしたいと考えています。



多彩なニーズに応えるツキ板と
職人の経験と技が生きる
美しい仕上がり。

株式会社 酒見展業



株式会社 酒見展業

所在地/〒831-0004

福岡県大川市榎津86-1

代表者/酒見 毅

TEL0944-87-3057

FAX0944-87-3051

[E-mail] tengyou@kumin.ne.jp

設立/昭和41年

資本金/1,200万円

従業員/14名

営業時間/8:00~17:00

定休日/日祝日



創業から天然木化粧板にこだわって製造販売を続けています。家具の資材を中心に質の高い製品を提供してきましたが、平成2年に九州では3番目となるJAS認定工場の承認を受けてからは、本格的に建築資材の製造販売をスタート。公共施設や病院から一般住宅の壁材や建具、既製品や別注家具などまで幅広く展開しています。九州国立博物館、グランドハイアット福岡の壁にも酒見展業の天然木化粧板が使われています。建築デザイナーや施設によって求められるツキ板は変わります。多くのニーズに応えるためにアメリカやヨーロッパ、アフリカなどからツキ板を輸入し、その種類は56種類以

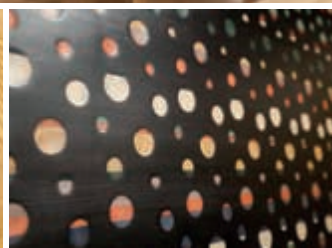
上にもなります。

「長く使うと違いがわかります。30年以上経つと良い風合いになる」と天然木化粧板の魅力語る酒見社長。現場に足を運び、丁寧に木目を合わせる高い技術と職人のこだわりが生きる仕事で、多くのお客からの信頼を得ています。



TOP VOICE

天然木を使うには経験と技術が必要です。だからこそ、現場に足を運び、こちらから最適なツキ板を提案することもあります。細かい要望に応えるためにパラエティに富んだツキ板に加え、UVの水性塗装も自社工場で行なっています。また、不燃認定・人工ツキ板の認定も取得しています。



独自の技術で生み出す各種加工建材。
環境問題にも積極的に取組む。————— 山栄産業 株式会社



山栄産業 株式会社
所在地 / 〒831-0003
福岡県大川市諸富37
代表者 / 島崎 朝雄
TEL0944-87-7771
FAX0944-87-7773
[URL] <http://www.ksk-group.co.jp>
[E-mail] info@ksk-group.co.jp
創業 / 昭和43年
資本金 / 1,000万円
従業員 / 17名
営業時間 / 8:00~17:00
定休日 / 日、祝日

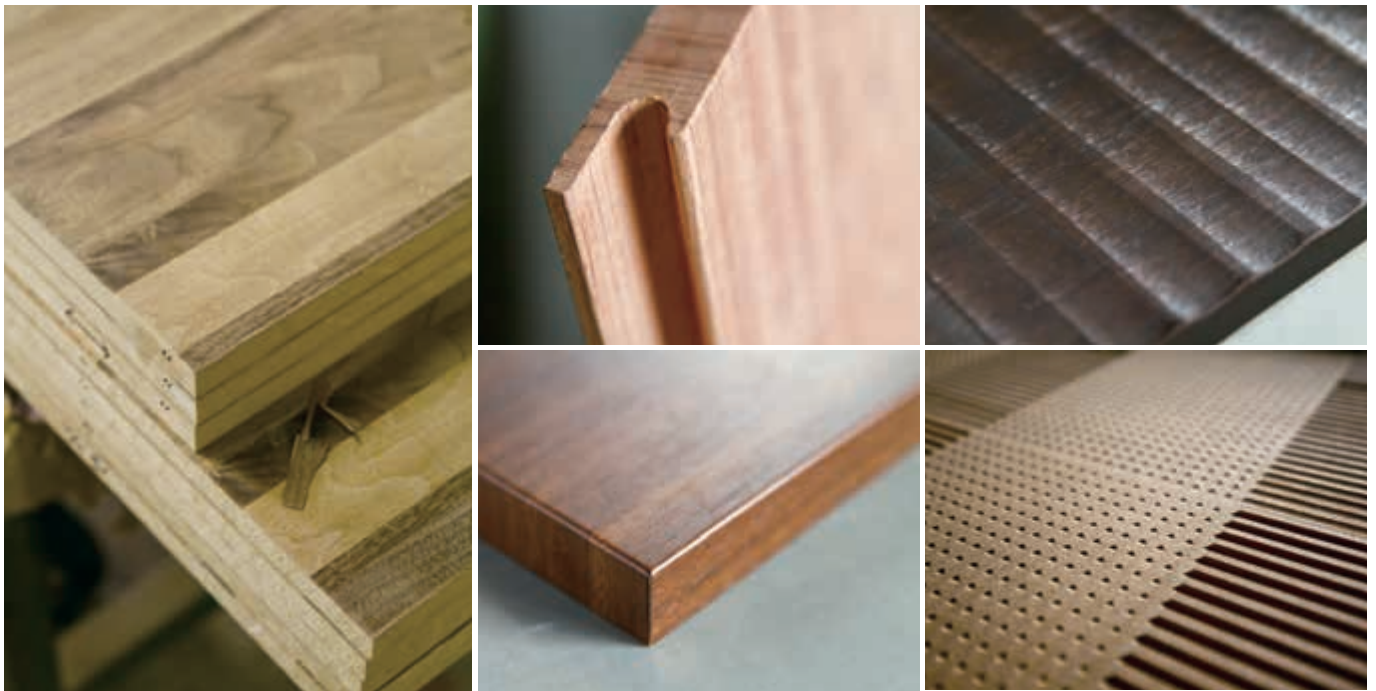


山栄産業は、島崎興産、(有)イケイクラフトの3社で構成するKSKグループの一員として、空間づくりのベースとなる建材加工を担当。九州一円に広がる取引先に、天然木化粧合板や特殊加工化粧板などの建築資材を提供しています。山栄産業では日本農林規格(JAS)の厳格な審査をクリアしたJAS認定工場をはじめ、内装材や不燃材において必要不可欠な国土交通大臣認定など、さまざまな認定を取得しています。

また、同社の特許技術である寸法安定化及び木材染色のための設備を導入し、高性能とデザイン性を両立した高機能国産木材を生み出しています。木材を取扱う企業として地球環境保全にも積極的に取り組みISO9001、ISO14001の認証を取得。KSKグループ社員一人ひとりが環境保護を意識し、実践すべき行動を環境方針としてホームページ上に公開しています。



TOP VOICE
JAS認定工場から生まれる安心と信頼の家具・建築資材をお届けします。



深さ120ミリの材や五面の材に一度でプレス。
2台の機械で真空貼りを丁寧に行っています。

— 有限会社 志岐工芸



有限会社 志岐工芸

所在地 / 〒830-0214

福岡県久留米市城島町江上本1315-1

代表者 / 志岐 太輔

TEL 0942-62-3854

FAX 0942-62-2069

[E-mail] shikikougei@mx81.tiki.ne.jp

創業 / 昭和47(1972)年

設立 / 平成15(2003)年

資本金 / 300万円

従業員 / 6名

営業時間 / 8:00 ~ 17:00

定休日 / 日曜



同社は、NC加工や真空貼り加工がメイン。家具メーカーから注文を受け、さまざまな材に加工をしています。中でも真空貼りが得意です。

真空貼りとは、機械を使って材にプリントシートを貼る加工技術。材は木に限らず、陶器でも石膏ボードでも何でもOK。凹凸があっても貼れ、同社の機械は120ミリの深

さにも対応できます。また、多くの機械は1回のプレスで四面にシートを接着しますが、同社は山型になった材の五面も1回で接着することができます。

真空貼りはプレスの際に材の1センチ角に100キロの負荷がかかるため、材を傷めないように注意が必要ですが、材の種類が広がる魅力もあります。思いもよらない材やデザインが生まれ、新しい家具や建築の誕生につながるかもしれません。

2015年に他界した父とはケンカもしましたが、習ったことも多かったと、志岐社長は話します。その多くはお客様との接し方であり、挨拶など基本的なことだったとか。

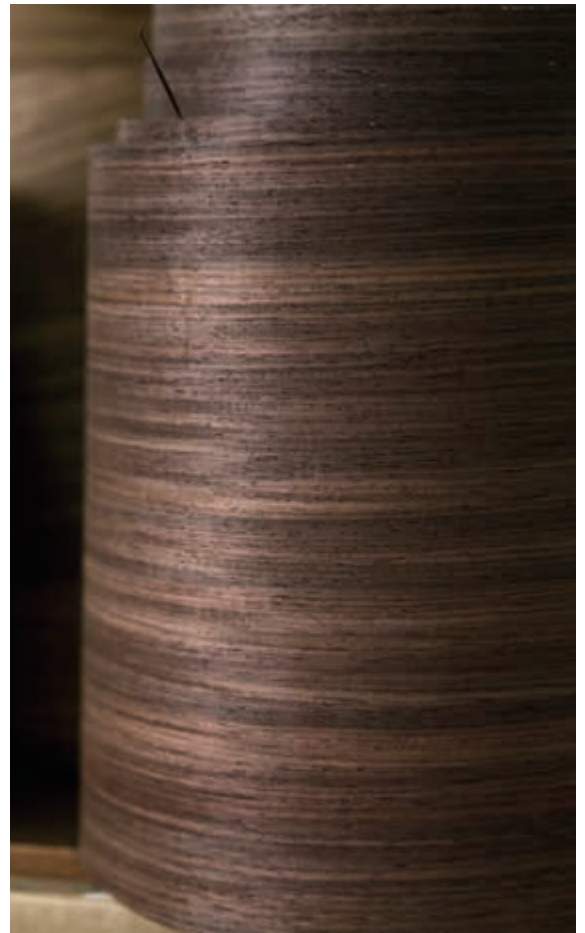
今、志岐社長は仕事が面白くなってきたといいます。小ロットの注文も受け、「ノークレーム、ノーリターン」を目標に父の分まで頑張っていくつもりです。



TOP VOICE

父から真空貼りを化粧に例え、「顔が水に濡れていたら化粧がつかないように、板が濡れていたら真空貼りはできない。よく拭いて綺麗に仕上げろ」とも言われました。





KSKグループの中核企業として 仕入れ・販売から 企画、開発までを担う。

島崎興産



島崎興産は、山栄産業(株)、(有)エイケイクラフトの3社で構成するKSKグループの中核企業です。KSKグループでは島崎興産がツキ板の仕入れを担当、それを山栄産業で化粧板や和紙貼り等への加工を行い、そしてエイケイクラフトが家具や収納などの製品を製作するというグループ内の業務フローを構築しています。



島崎興産

所在地/〒831-0008

福岡県大川市鐘ヶ江590-5

代表者/島崎 朝雄

TEL0944-88-0394

FAX0944-88-0391

[URL]<http://www.ksk-group.co.jp>

[E-mail]info@ksk-group.co.jp

設立/昭和54年

従業員/6名

営業時間/8:30~17:30

定休日/日、祝日



TOP VOICE

当社では世界の銘木を豊富に取り揃え、九州随一の在庫量と自負しています。ご予算や用途に応じて提案いたします。お気軽にお問合せください。

島崎興産ではグループ内への資材提供のほか、全国の内装業者や家具メーカーに表面材を販売。ツキ板の取扱いは30年以上の歴史を誇ります。また、仕入れ・販売はもちろん、お客様のニーズに応じて新しい素材の企画、開発も行います。寸法安定・ヤケ防止・硬質化と3つの性能を飛躍的に向上させた形状安定木材「KSwood」や特殊な立体加工を施した化粧板「カービングコレクション」などは、KSKグループ独自の技術が生み出したオリジナル商品として高い評価を受けています。



化粧合板の製造から、多彩な塗装まで。

最新の技術で、幅広いニーズに応えます。—— 株式会社 大新



株式会社 大新

所在地 / 〒831-0006

福岡県大川市中古賀1048-1

(大川家具工業団地協同組合内)

代表者 / 江口 正基

TEL0944-87-2788(代表)

FAX0944-88-2813

[URL] <http://www.daishin-eco.com/>

[E-mail] mail@daishin-eco.com

設立 / 昭和43年2月

資本金 / 4,370万円

従業員 / 26名

営業時間 / 8:00~17:00

定休日 / 日・祝(土は不定期)



大新は、大川家具工業団地協同組合の完成と同時に設立され、ともに歴史を歩んできました。創業時からの業務である天然木突板化粧合板の製造に加え、平成に入ってから着手した塗装部門が急成長。ピアノ塗装・UV塗装・セラウッド塗装といった特殊な塗装技術で、多様なニーズに応えています。さらには資材や家具の販売までも手掛けるなど、多面的な業務展開が特徴です。

天然木突板化粧合板の製造では、突板の貼り加工から塗装までを自社で手掛け、新しいところでは国産スギの間伐材を使った突板化粧合板が、和風造りの飲食店などから注目されています。エコ化対策も推進しており、2003年に設立された大川化粧合板品質管理機構に加入。安心・安全な商品の提供に努めています。

多彩な塗装技術も、大新の強みです。同社が開発した水性エコ塗装は、実用化が難しいとされる中、従来にない仕上がりと塗

膜物性を実現しました。「鏡面仕上げ」「光り物」などと呼ばれるピアノ塗装は、まさにピアノのような光沢のある塗装。時間と手間をかけて塗り・乾燥・研磨を繰り返した後、トップコートで鏡のような輝きに仕上げます。UV塗装は、紫外線硬化型塗料に紫外線を当てて手早く乾燥させるシステム。大量ロットでも短納期で提供できることに加え、傷に強いのが特長です。紫外線焼けにくいセラウッド塗装は、公共施設や学校などに多く利用されています。

「質の高い化粧合板の製造と、木材をより良く見せる塗装技術で、これからも家具業界に大きく貢献していきたいですね」と、江口社長は目を輝かせます。



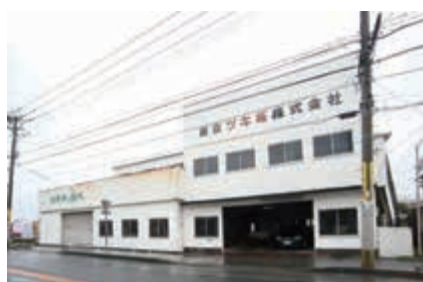
TOP VOICE

ショールームに展示したさまざまな素材で、当社の塗装技術を実際にお確かめください。インターネットでの情報発信にも力を入れており、ホームページには、国内だけでなく世界各国からもアクセスや問い合わせをいただいております。



年とともに増える傷や色の変化は天然だからこそ。
「オンリーワン」に成り得るツキ板の魅力を発信中。

東京ツキ板 株式会社



東京ツキ板 株式会社

所在地 / 〒831-0005
福岡県大川市向島1648-4
代表 / 代表取締役 石橋 努
TEL / 0944-87-2208
FAX / 0944-87-2210
[E-mail] toutuki@drive.ocn.ne.jp
創業 / 昭和36(1961)年
従業員 / 5名
営業時間 / 8:00 ~ 17:30
定休日 / 日曜、第2土曜、祝日



創業以来、一貫してツキ板の仕入れ・製造・販売を行っている会社。国内はもとより欧米、南洋、アフリカ、ロシア、中国、東南アジアから原木・銘木を仕入れ、自社または委託工場加工、ツキ板にして販売しています。原木から加工しているため、厚さ、長さ、幅は自由自在。お客様のご要望に合わせ、さまざまな壁面材、表面材、内装材に仕上げることができます。また「材の種類はぎゅっと凝縮して80種類以上」と言い、さまざまな木材が揃うのが同社の強みです。

ツキ板の魅力は、天然木であること。「木は人間と同じで、年数が経てば経つほど味が出て、表情が変わります。それを見ながら、お客様と一緒に成長してもらえれば…」。傷が入ったり、反ったり、色が変わったり。天然木は年とともに変化していきます。しかし、それは生きている証拠。自分だけの製品として育てていく「オンリーワン」の楽しみがツキ板にはあるのです。

技術の進歩によって紙材を貼ったドアや資材が増える中、石膏ボードに材を貼ったり、波状のデザインを考えたりして、新しいデザインや異素材との組み合わせを研究中です。材木を細かく砕いて珪藻土のように使う案も出ています。



TOP VOICE

これまで敬遠されていた節入りのツキ板も最近は好まれるようになり、今まで欠点とされていたものが新しい魅力に変わりつつあります。「提案次第でまだまだチャンスはある」と、チャレンジは続いています。



TOP VOICE

自然が何百年もかけて育てた木は、ひとつひとつ表情が違います。私たちは突板で、天然木の手ざわりや色味、風合いをご提案します。お気軽にお問い合わせください。



確かな技をベースに独自商品を次々に開発。

突板の無限の可能性を広げる。——東洋突板工芸 株式会社



東洋突板工芸 株式会社

所在地/〒831-0005

福岡県大川市大字向島960-1

代表者/大関 一宏

TEL0944-87-1567

FAX0944-87-1227

[URL] <http://www.toyotsukiita.jp/>

[E-mail] info@toyotsukiita.jp

創業/昭和35年

資本金/1,000万円

営業時間/8:00~17:00

定休日/日曜、祝祭日



創業以来、突板を使った化粧合板分野に特化した事業展開を行ってきた東洋突板工芸。1997年に先代から引き継いだのが大関一宏社長です。取扱う突板の種類は約80種。取引先は家具製造業者や建具屋、内装業者、ベッドメーカーなどで、家具をはじめ住宅のドア・内装などに使用。

一部高級な突板は、高級ホテルの壁などにも使われ、同社の突板は世界的なコーヒーチェーン、スターバックスや高級ブランド、ルイ・ヴィトン、エルメスなどの店舗内装材として使用されています。

同社では突板仕上げの化粧合板製造を主力事業としつつ、独自商品を積極的に開発。試行錯誤の末に開発したのが縫製加工可能な「TOYO WOOD」です。TOYO WOODは天然木の風合いや香りはそのままに防水性にも優れ、名刺入れや鞆、携帯電話用ジャケットなど、多彩な商品が誕生しています。また、西陣織の手法で突板をシート状にした「木織TOYO WOOD」を開発し、ものづくり日本大賞・経済産業大臣賞を受賞するなど、旺盛なチャレンジ精神で突板の可能性を広げています。





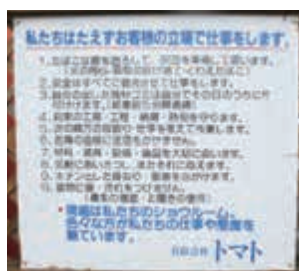
原木を買い付けて、突板や化粧合板に。
 一方では、アジア各国に国産丸太の輸出も。

—— 有限会社 トマト



有限会社 トマト
 所在地／〒831-0005
 福岡県大川市大字向島1766番地
 代表者／池末 和海
 TEL0944-86-5488
 FAX0944-86-5926
 [URL]http://okawa-tomato.com/
 [E-mail]HPのメールフォームから送信ください
 創業／昭和59年11月
 設立／平成9年10月22日
 資本金／1,000万円
 従業員／6名
 営業時間／8:00～17:00
 定休日／日祝日、第2土曜

国内外の産地から
 買い付けた原木で
 突板や化粧合板を
 製造し、突板化粧
 合板メーカーをは
 じめ、家具や建具
 のメーカーに販売
 しているトマト。「種類



も在庫数も豊富で、何でも早くそろうのが
 当社の強み。少数精鋭で頑張っていますから、
 ここ数年は右肩上がりです」と力強く語る
 のは、大川化粧合板工業協同組合の理事
 長も務める池末社長。後継ぎの健太郎さん
 も原木の買い付けに取り組み始めたところ
 で、その成果は「うちは後継者が頑張ってい

ますから」という池末社長の言葉にも表れて
 います。

10年ほど前からは、九州各地で買い付け
 たスギやヒノキなどの丸太を、中国を中心と
 したアジア各国に輸出する事業にも力を
 入れています。「注文はあります。いかに素早く
 商品を用意できるが今後の課題ですね」と、
 池末社長は言います。

工場では、突板のスライスや化粧合板の貼
 り加工をはじめ、木材の表面に凹凸をつけて
 木目の美しさを際立たせる浮造り加工(パ
 レン加工)や曲面浮造り加工(サンドブラ
 スト加工)も行っています。開発にも意欲的な
 池末社長は、近く、木材真空加圧含浸装置の
 試作機を導入する予定だとか。「木材の不燃
 化や染色などに使える機械です。多くの同
 業者に利用してもらい、大川の役に立てば
 願っています」。

大川の家具・建具業界の将来を見据え
 つつ、池末社長の挑戦は続きます。



TOP VOICE

家族中心にやっているアットホームな雰囲気
 の事務所、「誠心誠意」をモットーとしていま
 す。どんな部材でも、どんなに少量でも、お
 気軽にご用命ください。ご希望の商品は、
 倉庫になければ何とかして探し出し、責任
 を持ってお届けします。



TOP VOICE

市場が求めるものをお客様にお届けするのが私の使命だと考えています。それが、当社が価格ではなく価値で勝負する理由です。人まねではない商品を開発していくためには、伝統的な良さだけでなく、時代の変化に合わせたテクノロジーが必要です。



不燃木材、防虫防蟻材、WPC加工。 市場が求める“価値ある木材”をいち早く。

—— 有限会社 中村ツキ板



真空加圧含浸装置(画像はイメージです)



有限会社 中村ツキ板

所在地/〒831-0008

福岡県大川市鐘ヶ江677番地

代表者/中村 孝博

TEL0944-87-7060

FAX0944-87-8360

[URL]http://www.tsukiita.jp/

[E-mail]info@tsukiita.jp

創業/平成6年4月

設立/平成9年8月1日

資本金/300万円

従業員/4名

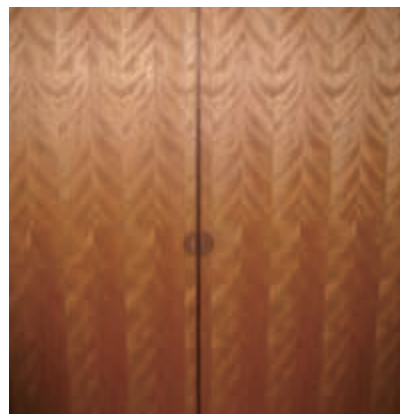
営業時間/8:15~17:15

定休日/日、祝日(土曜は不定期)

社名からも分かるように、中村ツキ板の主な業務は天然木の突板化粧板およびプリント合板の製造販売ですが、その一方で、新しい商品の開発にも余念がありません。

WPC(Wood Plastic Combination)は、木材の内部に樹脂を含浸重合させ、強度や耐久性などを高める木材強化技術。木の持つぬくもりや素材感を損なうことなく、木材の内部から強化します。塗料を加えて着色すれば、従来の塗装では出せなかった深みのある色合いに仕上げることも。建築業界ではフローリングや階段などの資材として利用されており、家具資材としても大きな可能性を秘めています。

防虫・防蟻剤を含浸させたシロアリ予防効果のある材木も、これからの商材です。東南アジアへの輸出も視野に、各方面で商談を進めています。



最も力を入れているのが、不燃木材の製造販売です。真空加圧含浸装置で薬液を含浸させ、パイオ乾燥機で低温乾燥するというもので、「従来の不燃木材のようなベタつきがないので、家具や建具にも応用しやすい」と、中村社長は自信を見せます。経営革新計画が承認されたことを追い風に、「超高層ビルに木材を使用する研究会」でも積極的に情報収集や意見交換を実施。不燃木材の将来性に期待を込めます。

「企業努力というのは、自ら努力して市場性や需要を探していくこと。待っているだけではダメなんです」。中村社長は常に攻めの姿勢で仕事と向き合っています。



TOP VOICE

海外や国内の産地に足を運んで、自分の目で確認した丸太を買い付け、製材から自社で行なっています。それだけに、突板の品質には自信があります。希少な木材ですから、有効に使っていただけると嬉しいです。

産地まで足を運んで仕入れた丸太を 製材してスライスし、上質な突板に。— 有限会社 中村満材木店



有限会社 中村満材木店

所在地/〒831-0016

福岡県大川市酒見594-2

代表者/中村 満

TEL0944-86-4858

FAX0944-86-5018

[E-mail] nakamura-man-zai@ivy.ocn.ne.jp

設立/2000年(平成元年)

資本金/500万円

従業員/9名

営業時間/8:00~17:00

定休日/日、祝、第2土曜日



木材を薄く削り出した突板は、家具・建具・内装・建築などの資材として、なくてはならない存在です。中村満材木店では、さまざま

な種類の突板を製造し、家具メーカーや建材メーカーに提供しています。

敷地内に積み上げられた丸太は、アメリカを中心に中国・熊本・大分などから仕入れてきたもの。産地に足を運び、自分の目で確かめた木材だけを買っています。「木材をよく見極めないと、よい突板はつくれません」と中村社長。人任せではなく、自分の目で見ないと納得しない頑固さが、確かな品質を



支えています。「製材のしかたで突板の品質が変わってくるから」と、製材から自社で行うのも、こだわりのひとつです。

工場では「シューツ、シューツ」という音を立てて、巨大なカンナのようなスライサーが丸太を削っています。薄さ0.2mmほど突板は、まるで紙のような繊細さ。取り扱いも慎重を要します。「刃は木の種類によって使い分けています。切れ味が命ですから、小まめに研ぐことも忘れません」。スライスした突板は、乾燥窯に入れたり床に広げるなどして乾燥させます。

こうして突板そのものを製造している工場は大川でも数えるほどしかなく、常に豊富な在庫が揃っている中村満材木店には、遠くは関東や関西からも買い付けに来るお客さまが後を絶ちません。





「天然木の良さを知ってほしい」と
 現地で原木を見定め、
 高品質のツキ板を製造。———中本商会



中本商会
 所在地/〒831-0026
 福岡県大川市大字三丸1228-3
 代表/代表取締役 中本 茂
 TEL0944-87-1167
 FAX0944-87-5787
 創業/ 1975(昭和50)年
 従業員/ 4名



40年前に創業して以来、ツキ板一筋の会社です。社長の中本茂さんは、国内外から天然の原木を仕入れ、丸太を一本一本丁寧に見て、適切な部分を適切なツキ板に仕上げるようにしています。製材は外注ですが、乾燥具合や厚さを細かく指示し、0.2mmまで薄くなったツキ板を家具メーカーや建材店に卸しています。

中には、製材の際に虫食いや節が見つかることも。木の表面から内部を推測し、最適な部分を最適な形に仕上げるには、木を見る

確かな目が大切です。社長は伐採した現地や仕入れ先に足を運んでその目を養ってきました。跡を継ぎ、父と同様に現地に向かう息子の真一郎

さんは「親父にはまだまだかなわない」と舌を巻きます。しかし、節があるのは天然木の証拠であり、天然木の魅力です。以前は敬遠された節も今では好まれる傾向にあり、とまどいの中にも嬉しさを感じています。



TOP VOICE

注文は全国からあり、近年は公共施設を中心に県産材を使うようになってきたため、全国各地へ出かけるといいます。その目利きと外注先との信頼によって生まれる品質の高さが認められ、首相官邸の一部に同社のツキ板が使われています。





在庫が豊富で、かつ迅速に
大川ならではの対応を致します。——— 有限会社 伏見商会



有限会社 伏見商会
所在地/〒831-0005
福岡県大川市向島2213-2
代表者/伏見 誠
TEL0944-87-3654
FAX0944-87-3974
[E-mail]fushimishoukai@world.ocn.ne.jp
創立/昭和56年
設立/2015年10月
資本金/500万円
従業員/16名
営業時間/8:30~17:30
定休日/日祝、第2土曜



先代が突き板屋さんから独立。最初は突き板の販売を行っていたそうですが、徐々に新建材の仕入れ販売へと業態が変化していったそうです。今は国内トップメーカー「アイカ工業」の代理店として化粧板、不燃化粧板、カウンター・メラミン扉、住宅向け部材、建築向け部材、接着などを取り扱い自社便で配送ま



TOP VOICE
弊社の持ち味は、大川のネットワークと従業員のフットワークです。資材の販売を基幹としながら自社の物流を生かして大川でしかできないサービスがスムーズに動けばいいなあと思っています。

で行なっています。もともと突板の販売にしても新建材の仕入れ販売にしても大川市内では後発だったので、営業エリアが市外、県外が中心だったのですが、市外のお客様が多いのですが、市外のお客様から重宝されている理由としては「大川に会社があるからです」と社長はおっしゃいます。

伏見商会の強みはメーカーの代理店として豊富なストックがあるという点の他、メラミン1枚、ポリ板1枚から自社便で届けるというフットワークの良さにあります。また、刃物の研磨を引き受けてきたりすることもあるそうです。このサービスを支えているのが家具産業の集積地「大川」。刃物の研磨はもちろん、メーカーでは取り扱っていない大川独特の部材までありとあらゆるものが揃っているからです。資材販売の枠を超えて、市外の事業者が望む細やかなサービスを実現する企業へと進化し続けています。





4mプレス機を保有し 長尺物の天然木化粧合板を製造。—— 堀田ツキ板



堀田ツキ板

所在地/〒831-0031
福岡県大川市上巻94-1
代表者/堀田 源衛
TEL0944-87-6424
FAX0944-88-2633
創業/昭和42年
従業員/5名
営業時間/8:00~17:00
定休日/土・日曜日



原木自体が少なくなっているため、以前に比べると突板も良質なものを入手することが難しくなっています」と堀田代表。ほとんどが固定の取引先ということで、事務所には頻繁に問合せの電話が入ります。「当社の特長というところでは、4mのプレス機を保有していることですね。裁断機もありますから長尺物の注文が多いです」。

堀田ツキ板は、木工関連の仕事をしていた堀田代表が昭和42年に創業しました。同社で製造された天然木化粧合板は九州一円の家具メーカーや工務店、内装業者に販売されていますが、最近は建具材としてより別注家具材として利用されることが多くなっています。「日本に入ってくる良質な

機械の音が絶え間なく響く工場内では、熟練スタッフが裁断や貼り加工など一連の作業を手際よく進めています。



TOP VOICE

長尺プレス機を導入し、お客様の多種多様なニーズにお応えしております。お気軽にご相談ください。





TOP VOICE

ツキ板の技術に加え、お客様の要望に応える努力もしています。お客様が困っていただければ、夜に届ける情の篤さも同社の魅力でもあります。



ツキ板を加工し、美しい板にして販売。 「勉強が大事」と向上心は衰えを知りません。

馬淵ツキ板工業所



馬淵ツキ板工業所

所在地/〒831-0028
福岡県大川市郷原337-2

代表者/馬淵 訓行

TEL0944-86-5510

FAX0944-87-2813

創業/昭和35(1960)年

資本金/950万円

従業員/7名

営業時間/8:30 ~ 17:30

定休日/日曜・祝日



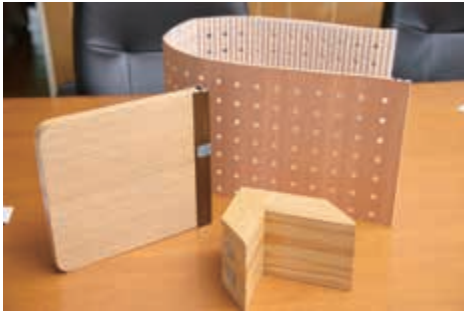
同社はツキ板を仕入れ、合板などに加工して販売している資材メーカーです。昔は家具の資材が多かったのですが、今は内装関係の仕事がメインになっており、幅4尺×長さ8尺という大きなものも扱っています。中には長さ4メートルのものもあります。木の種類の分だけツキ板にできるといい、同社が販売する板は100種類を超えています。そのほとんどのサンプルを持ち、同社はFAXで注文を受けた取引先へサンプルを持って行き、打ち合わせもするのだとか。お客様の希望通りの品ができ上がり、お客

様の喜ぶ顔が一番の幸せと、馬淵社長は語ります。

ツキ板を貼るのはすべて手作業。大きなツキ板になれば、6人がかりになることも。ツキ板の端を持ち、皆が呼吸を合わせて一緒にまっすぐ貼っていきます。その貼る技術も大事ですが、木目を見てバランスよく配置するセンスも大事です。縁起をかつぐ日本人は「まっすぐ」な目を好み、それも上に向かう目が喜ばれるといいます。細いツキ板をどう貼り合わせれば大きな美しい一枚の板になるのか、木目を見ながら考えていくのです。

この道54年という馬淵社長ですが、「まだまだ勉強」と言い、新しい商品を相談されたら気持ちが奮い立つと言います。家具産業の停滞が続き、壁にぶつかってもがいている中、新しい人との出会いが何かヒントを与えてくれるのではないかと、「勉強できることは幸せなこと」と、若い世代とのつながりを望んでいます。





経験と熟練の技で 高品質なツキ板合板を提供します。

株式会社 柳川ツキ板工芸



株式会社 柳川ツキ板工芸

所在地/〒832-0046

福岡県柳川市奥州町21-7

代表者/中村 芳徳

TEL0944-73-1896

FAX0944-73-1922

[URL] <http://yanatuki.client.jp/>

[E-mail] yanagawa-tukiita@lilao.ocn.ne.jp

創業/昭和56年9月

資本金/1,000万円

従業員/11名

営業時間/8:30~17:30

定休日/第2・4土曜日、日祭日

柳川ツキ板工芸では、世界中の木材の中から厳選した美しい木目のツキ板を高度な技術を駆使して化粧合板に仕上げています。その技術は各方面より高く評価されており、多くの実績を上げています。

今の消費者は化粧合板にとっても厳しいんです。節や木目が曲がっていたりすると嫌われます。しかし、丸太の状態では美しい木目かどうかはわかりません。ですから、品質のいいツキ板をつくるためには、いかに良い材料を確保するかにかかっています。そこでとても重要になっていくのが信頼できるネットワークと長年の経験から育まれる目利きの力。当社では、お取引先こそが最大の財産として大切にしているので、世界中から素晴らしい木目の材料を仕入れることができます。



また、良質なツキ板を世に送り出すには、裁断技術や貼り加工技術を極めることが必要不可欠です。熟練の技を持つスタッフがホットプレスで圧着する際に生じる伸縮率も計算し、極わずかな狂いもなくツキ板合板に仕上げています。

お陰さまで、全国各地の代表的な建物や庁舎、ホール、博物館やホテルなど様々な場所で使っていただいております。

これからも信頼を大切にしてお客様の要望を満たす良い仕事に徹し、当社のネットワークと技術を次世代につないでいきたいと思っております。



TOP VOICE

これまででは、公共施設に使われることが多かったのですが、これからは、木の良さのわかるお客様たちの住まいの中にもっともっと入っていけたらと思います。

